

# 本校のNIE実践について

宮崎県立妻高等学校  
教諭 井手 誠

## 1 はじめに～NIE 教育との出会い、学校紹介

自分自身が、日常、新聞から遠ざかっていたが、日本新聞協会より NIE 実践指定校の認定を受け、今は、頭の中が新聞だらけになっている。新聞を活用する目的は、主体的で対話的で深い学びを実現し、生きる力を身につけることである。従って、新聞活用は、あくまでも手段であるが、極めて強力で有効な手段である。本校は、西都商業高校との統合により開設された新宮崎県立妻高等学校と「最後」の妻高等学校からなる。1・2年生は、普通科文理科学コース 1 クラス、普通科 3 クラス、情報ビジネスフロンティア科 2 クラス、福祉科 1 クラスの 1 学年合計 7 クラス、3 年生は、普通科 4 クラス、福祉科 1 クラスの 1 学年合計 5 クラス、学校全体で 19 クラス全校生徒 657 名である。進路は、国公立大学、私立大学、短期大学、高等看護専門学校、各種専門学校、就職など多様である。多様性に富む本校生徒の実態を踏まえ、いかなる NIE を展開することができるか、1 学期は、事務作業と考えを巡らすだけで時間が過ぎていった。1 学期に考えたことを、2 学期に具体化させ、生徒図書委員と各先生方の協力のもと、実践に取り組んだ。

## 2 本校の具体的取り組み ①・②は実現 ③はかっちりとは出来なかった

本校の具体的取り組みは、以下のとおりである。

### ① 朝の 10 分間読書における取り組み

1～2 週間程度の間隔で、各紙コラム・社説・記事等を課題図書として、全校一斉に読ませる。

### ② 新聞に親しむ取り組みを各学年に対して取り組む

全 19 クラスを対象に新聞各紙に親しむ機会を保障する(10/21～12/20)  
3 グループに分け、進路職員室・職員室等も含めてローテーションを作成

### ③ 各教科・総合的な学習(探求)の時間・特別活動における新聞活用の取り組み

各教科 教科代表者会に協議依頼→教科会→中核実践者選出→授業実践

【理科】1 年生の生物基礎の「免疫」の授業の中で、新型コロナウイルスについて新聞の内容を提示し、次のような項目を紹介した。

○ウイルスの特徴○感染拡大の原因○症状や感染源、治療法

【地歴】新聞記事を使用した地理 B 授業

①カナダのハドソン湾の氷が溶けシロクマの絶滅の危険

②南海トラフ地震津波到達の避難について

③フランスの移民差別

【公民】気になるニュースミニ小論の取り組み

【商業】ドン・キホーテが、商業施設「ボンベルタ橘」の運営会社などを傘下に置く橘ホールディングスの全株式を取得した。というニュースを財務会計の授業の「株式会社の資本金」というところで使用した。

総合学習 担当者間で協議→実践 2019年度実施できず

特別活動 生徒指導部・進路指導部に協議依頼 2019年度実施できず

### 3 公民科の新聞活用実践について～気になるニュースミニ小論

公民科では、主体的で対話的で深い学びと人権教育を基盤に置いた教科指導を意識して日々取り組んでいる。手法として、生徒が主体的に調べ、まとめ、発表し、傾聴し、思考を表現する～リーディング・リスニング・ライティング・スピーキングのすべてを取り入れた授業を展開中である。以下に紹介するのは、生徒の発表を傾聴してまとめ、生徒に紹介した感想文である。

#### **教育現場の厳しい現状を伝える記事を踏まえた発表原稿（原文のまま）**

僕が気になった最近のニュースは、教員の子すら教師になりたがらない、教育現場の惨状についてのニュースです。現在、「教員」という職が志願者の減少という危機にあります。報道によると、2019年度の公立学校教員採用試験の倍率は4.0倍とのことで、6年連続で低下を続けています。特に顕著なのが東京都における小学校教員の倍率で2.7倍です。これは、もはや危機的状況にあるといえます。倍率が下がると質が担保できなくなるからです。大学の教育学部を志願する学生も減り続けています。教育学部以外で教職課程を履修していた学生も途中で放棄するケースも増えているようです。これには、いろいろな理由がありますが、一番大きいのは教員の仕事があまりにも多忙で、超過重労働によってブラック化しているからです。2017年度に精神疾患になって休職した教員は、5077人にも上ります。給料も下がり続けています。以前は、親が教員である場合、その子どもも教師になることが多かったです。でも、今はそれも減ってきています。この現状に対して絶対に必要なのは教育予算を増やして、教員を増やすことです。1人の先生が最大40人まで受け持つ40人学級などという状況は、先進国で唯一日本だけで、ヨーロッパもアメリカも先進各国はどこも30人以下です。しかも、複数担任制が常識化しています。複数担任制だと、同じ空間に複数の大人がいるので、教員による暴言や体罰も防げると思います。また、それぞれの子どもの学力に応じた指導や心のケアもよりきめ細かくできるようになると思います。いじめの発見率も高まります。学力にしても、いじめの問題にしても1人の教員が見る人数を減らす必要があると思います。日本でも複数担任制をとり入れたり、教育関係予算を増やすことで、教育改革を進めてほしいです。

#### **神戸中3女子のいじめによる自殺事件についての発表を受けての感想**

神戸での自殺のニュースは知っていました。本当にひどい事件です。いじめによる自殺、これだけでも心が痛みいじめた人間に対して憤りを感じますが、学校、教育委員会がいじめの証拠を隠ぺいする。この行為には怒り心頭です。本来子供達を守らなければならないはずの大人達がいじめによる自殺ではないと証拠を隠ぺいし、嘘を言うのは信じられませんが。このニュースを聞いた他のいじめを受けている子供達はどう思うのでしょうか。明日先

生に相談しよう。そう思った生徒がこのニュースを聞いて、大人を信用できなくなって誰にも相談できずに自殺してしまう。こうなってしまってもないとは言えません。だから今回のこの事件はとても深刻な問題だと思えます。親族の方々も納得がいかないだろうし、自分に子供がいて同じことがあったら一生許せません。もうこのようなことが二度とおきないでほしいです。

### 「1-800-273-8255」

私の好きなアーティストに「Logic」という人がいます。その人は白人と黒人のハーフで、見た目は言われないと分からないくらい見た目は白人です。それによって、彼は、いじめを受けたり、人種差別をされました。彼の家族は、両親がアルコール中毒、薬物中毒で、兄弟は、コカインの製造、販売をしていました。そんな彼が作った曲が「1-800-273-8255」という曲です。その曲の題名は、ある電話番号になっていて、その電話番号をアメリカでかけると、自殺防止ダイヤルに繋がります。この曲はストーリーがあって、主人公が黒人の男の子で、学校でいじめを受け、友達であった白人の男の子と縁を切られたりして、つらいことばかりがありました。この曲の最初では、彼は「I don't wanna be alive」というふうに「死にたくない、生きたい」という気持ちが変わるという曲です。彼がこの曲をリリースしたあと、インタビューがあり、彼はそこでこう言いました。「俺は音楽が好きで、それで飯が食いたかった。貧乏な生活からぬけだしたかった。今回俺はこの曲をヒットさせることができ、大量のお金をかせぐことができた。貧乏からもぬけだせた。だが、なぜか俺は幸せにはなれなかった。」

今までそういう問題に目を向けていなかった人もこの曲から人種差別について関心を持っていけばよいと思います。私がこの話しを通じて伝えたいことは、「世界の色々な物事に興味をもち、いろいろな問題に対して自分なりの向き合い方、自分なりの解釈、自分なりの意見を持つことが大切だなと思う。」ということです。

#### 4 さいごに～次年度の取り組み 2①・②をもっと着実に 2③をかっちり

今年度、NIE 実践に取り組み、生徒も先生方も学校も間違いなく変わった。どう変わったのか。生徒も先生も、朝から教室で新聞を開いて読む姿が見られ、授業や進路指導における新聞活用が増えた。各クラスに新聞を置く取り組みが終わっても「クラスに新聞おいてもらえませんか」などのリクエストも相次いだ。公民科の気になるニュースミニ小論では、生徒が自分の出番、友達の発表を心待ちにしていた。まとめる力、発表する力、小論力も確実に高まり、進路の合格数（合格率）にもつながった。今後の課題は、担当者や学年の取り組みだけでなく、学校総体の取り組みとして推進していくことである。具体的には、校内 NIE 実践推進委員会を組織して、教科・学科・学年・分掌に NIE 推進者を置き活発にしていく取り組みが考えられる。

